

農林水産委員会 質疑 花粉症は国が対策すべき重要な政策だ

- 農林水産委員会（2014/03/17）
 - 花粉症対策の今後の取り組みについて
- 林芳正農林水産大臣



花粉について少しお話ししたんですが、まさに**国民病**というところでありまして、二千万人がかかっている。医療費だけで二千二百億円掛かっているという試算もありまして、観光業なんかも打撃ございまして、**経済損失は六千億とも一兆を超しておる**とも、こういう数字がございます。残念ながら、予算を見ますと、苗木を新たに植えるというところと拡散予測の推進というところで合計約一億円程度しか付いていないんですが、是非この辺、拡充というか、もちろんお金を付ければよいというものじゃないと思うんですけども、もう一度改めて農林水産省の今後の取組について、お答えいただければと思います。

苗木の安定供給推進事業、この間お答えしたかもしれませんが、八千二百万ということでございます。これ植え替えていくと、こういうことございまして、この少花粉杉等苗木の供給量の増大、これを二十三年度の百四十二万本から一千万本、これは**平成二十九年に向けて増やしていこう**と。それからもう一つは、被災した森林がございまして、そういう再生の進捗に合わせて必要な松を供給していこうということでございまして、単年度の予算としては確かに今委員がおっしゃったように、それほど大きな額でないかもしれませんが、**中長期的な目標に合わせてしっかりと取り組んでいきたい**と、こういうふうに思っております。

